

歴史的風致形成建造物 指定台帳

指定番号	25	名称	八木家住宅	
指定年月日	R2.5.28	所在地 (指定地)	奈良市高畑町 954 番地 1	
指定建造物	主屋	建築年代 ・概要	昭和初期	表屋造、木造 2 階建（表屋平屋建）、切妻造、平入、セメント瓦葺（表屋棧瓦葺）
位置 ・ 歴史	<p>この地は、奈良町の東部に位置し、以前は下清水町とって清水井という井戸があったという。近隣の上清水町、中清水町とともに地下水が豊富で、江戸時代には豊かな水源を利用して酒屋が営まれた地域である。</p> <p>八木家は代々下清水町に住み、明治期に現当主の曾祖父である八木善七が米屋を始めたと伝わる。その後、米屋の傍ら荒物を販売し、昭和 16 年、祖母の代で米屋をやめ、荒物屋を営むようになり現在に至る。</p> <p>東西道路に南面する当家は、昭和 5 年に建てられたと伝わる表屋造の町家である。当時、前面道路を拡幅する計画があり、拡幅の際に取り壊せるよう表屋を平屋にしたと伝わる。</p>			
建物特徴 ・ 改修履歴	<p>主屋は、表屋が平屋建て棧瓦葺で、正面は広く開放とする。表屋内部は間仕切りのない広く開放的な土間の空間で、店舗として活用されていたが、令和元年度の改修により、西から約 2 間の位置に壁が設けられ一部に床が張られた。</p> <p>主体部は、木造 2 階建て、セメント瓦葺で、正面 2 階は格子窓が入る。内部は、東側をトオリニワとし、西側に居室が 1 列 3 室並ぶ。昭和 50 年代以降、段階的にトオリニワを改造し、床を張り、台所や居室、風呂などを設けた。居室部 1 階表側は、西側 4 畳分を板敷きの事務室とし、ガラス窓、腰壁で店舗と区画し、東側 1 畳の土間境に間仕切りを入れずに店舗と一体化する空間だったが、令和元年度に大きく改修された。2 階は、表側に階段からの通路や物置を配し、居室部に 2 室、土間部に 1 室の居室を配する。土間部後方の吹抜け部分は屋根を一段低くする。</p> <p>居室部は全体的に保存状態が良く、座敷は 1 階 2 階とも座敷飾りが整っており、欄間や書院の凝った意匠、床の鏡天井や建具などに良質な材が用いられるなど、昭和初期の良質な町家の特徴がよく残っている。</p> <p>改修履歴) 昭和 50 年代：トオリニワに床を張る 昭和 50 年代後半：トイレ・風呂をトオリニワに移設 昭和 60 年代：台所改造 令和元年度：表屋屋根葺替、外観復原、内部改修</p>			
活用	住宅として使用			
価値	奈良町の昭和初期の町家の特徴を有しており、将来の道路拡張に備えて平屋の表屋造とした点は、奈良町に生きる人々の工夫と柔軟性を示す例であり、奈良の町家における人々の営みにみる歴史的風致の維持及び向上に寄与する。			



歴史的風致形成建造物 指定台帳



付近見取図

